
大自然の語り

神崎 ゆりあ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

大自然の語り

【Nコード】

N1705K

【作者名】

神崎 ゆりあ

【あらすじ】

大自然のことを書いた詩。

ただ、大自然といっても心証は非常に狭い大自然。

しんしんと

降り積もる雪には価値がある

しんしんと

積もり解けゆく雪には価値がある

しんしんと

涙を流す僕には価値はない

さらさらと

流れゆく川には価値がある

さらさらと

滑りゆく木葉には価値がある

さらさらと

去りゆく僕には価値はない

からからと

枯れゆく砂には意味がある

からからと

回る井戸には価値がある

からからと

足を引く僕には価値はない

ぽつりぽつり

僕は涙を流した

ぽつりぽつり

僕は足音をたてながら

ぽつりぽつり

言葉をつぶやいた

大自然に大いなる価値を

大自然の一部だというのに
価値を

そんなに大事か

人が決める価値

もっと大事なことがあるだろう

ただ、比べるのと

価値があるなしでは

紙一重だ

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能^{たんのう}してください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1705k/>

大自然の語り

2011年1月26日03時59分発行